

2024年事業計画書

2024年1月1日から2024年12月31日まで

一般社団法人おきなわ子ども未来ネットワーク

I. 特別養子縁組事業／おきなわ子どもみらいポケット

1. 事業実施の方針

「おきなわ子どもみらいポケット」は特別養子縁組斡旋事業が沖縄県における児童福祉の向上に必要な事業であることをふまえ、下記の事業方針に基づき実施します。

- (1) 児童の最善の利益の確保に努める
- (2) 営利を目的とした養子縁組のあっせんを禁止する
- (3) 生みの親による養育の可能性の模索を行う
- (4) 国内におけるあっせんを優先する
- (5) 出自を知る権利を確保する
- (6) 関係機関の連携による業務の推進に努める

2. 通常推進事業の内容

- (1) 予期せぬ妊娠に悩んでいる女性からの相談（特に経済的・環境的に出産の条件が整わない方）
- (2) 養子縁組で子どもを養育したいと希望する夫婦からの相談
- (3) 特別養子縁組のマッチングや養子縁組手続きに関する相談
- (4) 養親希望者への研修事業、特別養子縁組成立後の養親への継続支援
- (5) 養子縁組を希望する実母が出産するまで居場所がない場合、関係機関と連携をしながら居場所の確保を行い、安心・安全に出産できるよう支援
- (6) 実親に対するカウンセリング等実施し、実親への自立に向けての支援

3. 事業の実施計画及び予算

特別養子縁組斡旋事業計画表

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の予算額(千円)
おきなわ子どもみらいポケット (特別養子縁組斡旋事業)	・養親希望者に対する個別面接・家庭訪問等 (人件費)	2024年1月～随時	読谷村	4名	養親希望者	9,700
	・児童相談所との連絡会議	2024年12月頃	各圏域	4名	・コザ児童相談所 ・中央児童相談所	100
	・ぼけっとクラブ開催	2024年9月	読谷村	4名	事業所職員	100
	・自己評価実施	2025年4月	読谷村	4名	事業所職員	0

	・第三者評価事業	2024年 12月頃	読谷村	4名	事業所職員	400
	・心理療法支援事業	2024年 4月～随時	読谷村	1名	実親／養親／ 養子	600
	事業費合計					10,900

4. 中・長期事業計画について

○中期目標（5年間）

〈 実母側ピアサポートの実施 〉

- ・子を特別養子縁組に出した後、実母である当事者同士の抱える悩みを分かち合い、相談が行える集いの場を設ける
- ・喪失感の除去等について
- ・自立に向けての支援

〈 養親側ピアサポートの実施 〉

- ・子を養育していく中で、養親である当事者同士の抱える悩みを分かち合い、相談が行える交流の場を設ける。（養親当事者が運営）
- ・真実告知の時期、方法等について話し合う。

○長期目標（10年間）

〈 養子側ピアサポートの実施 〉

- ・養子となった子どもたちの当事者同士の悩みを分かち合い、相談が行える交流の場を設ける。

II. 若年妊産婦支援事業／沖縄県若年にんしん SOS

1. 事業実施の方針

- (1) 本事業が県の委託事業となり、4年目を迎え相談件数の増加に伴い。関係機関と密に連携を図りながら堅実に対応していく。

予期せぬ妊娠などにより、身体的、精神的な悩みや不安を抱えた若年妊婦等に確実に必要な情報が届くよう一般企業（コンビニ、カラオケ、A&W等）の協力を得ると同時に自治体・学校関係者の協力を得て、チラシ・携帯用カードを配布し、当事者に確実に情報が届くようにする。

また、県内に配置されたサポーターを活用し、アウトリーチやSNS等を活用した相談支援や、産婦人科等への同行支援を実施する。その後、必要に応じて地域の保健師や児童相談所等へ繋ぎ、要保護児童対策地域協議会等を活用して、身近な地域で必要な支援が継続して受けられる体制をつくる。

- (2) 相談件数の増加により、病院受診等多くの病院への問い合わせをする中で、受診に難色を示す病院もあるので病院の理解を促していく。
- (3) アウトリーチや継続的な相談支援等の過程において、若年妊婦の居場所が不安定である等の場合、関係機関と連携して緊急一時保護を行う。若年妊産婦が安全・安心に出産を迎え、自立に向けて安心して親子が出立できるよう支援する。
- (4) LINE相談員、相談支援員、サポーター等本事業に従事する職員の資質の向上のため、年2回研修会を実施する。

2. 事業実施に関する事項及び予算

若年妊産婦支援事業に係る事業計画表

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費予算額(千円)
若年妊産婦支援事業 (沖縄県若年にんしんSOS)	・ SOSライン相談 (365日)	1日4時間対応	読谷村	1名	県内全域	1,752
	・ 電話相談・関係機関調整	週5日	〃	1名	〃	3,350
	・ 若年妊娠SOSサポーター初任者研修(1回) 継続研修2回(全体)	2024年6月,7月 11月2月	読谷村	約5名	サポーター 30名余	384
	・ 妊娠検査薬配布事業 (随時)	2024年1月～	県内全域	約30名	約10名	62
	・ 産婦人科病院同行事業 (随時)	2024年1月～	県内全域	約30名	約35名	586
	・ 緊急一時宿泊事業 (随時)	2024年1月～	県内全域	約2名	約5名	245
	・ 自治体、民間企業、学校等へのチラシ・カード配布 (年2回、3カ所)	2024年7月～ 2月	県内全域	約5名	当事者等	821
	事業費合計					

III. リングキャンペーン事業

1. 事業実施の方針

(1) 法人の自主事業として実施していた本事業が、2022年7月から内閣府の委託事業となり、今年度も継続して実施することが可能となった。国からの支援により、資金面で安定し順調に事業を実施することが可能となった。

この事業の実施により、望まない妊娠を防ぐことが可能となり、今後の生活設計が立てられ、前向きに人生を歩むことが可能となった等リングキャンペーンを利用した女性達等から感謝の声がある。今年度も引き続き、行政と民間が連携して、この事業を実施することとしたい。

(2) 通常推進事業の内容

- ・ 避妊のため、リング挿入を希望する者は地域の保健師等へ相談を行い、手続き方法等の助言を受ける。対象者は非課税世帯の者。何らかのDV被害者で予期せぬ妊娠も繰り返している者等。

- ・ 対象者は病院受診を行い、医師よりリング挿入の必要性を助言されるが、その費用を経済的理由により工面出来ない者とする。また、費用概算検査時も必要に応じて支援を行う。但し、リング代金の上限は4万円とし、それを超えた金額に

については自己負担とする。

・対象者は市町村の保健師等を介して、利用届を提出し、当法人の決定後病院受診し、リングを挿入する。

・挿入後、病院からリング代金施術費用を法人に請求し、法人がリング代金を病院へ振り込むこととする。なお、挿入後の1ヶ月検診の費用も本事業が負担することが可能となった。

2. 事業実施に関する事項及び予算

リングキャンペーン事業計画表

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者範囲・人数	事業費 予算額 (千円)
リング キャン ペーン 事業	・望まない妊娠を繰り返し、避妊を希望する女性にリング代金を支給する事業	2024年 1月1日 ～ 随時	本人の希望する病院	5名	・リング挿入希望女性(非課税世帯) 年間約50人	7,690
事業費合計						7,690

IV. 若年ママ自動車免許取得事業

1. 事業実施の方針

(1) R4年度に沖縄県子ども未来応援基金を活用し、若年ママに自動車免許取得費用30万円を助成する事業を実施した。多く(80名余り)の応募があり、事業の必要性を感じ、継続を試み、R5年にも同様の内容で応募したが、採択はされなかったが、法人の自主事業で2名を実施している。

(2) 令和6年「<ろうきん>働く子どもの明日を応援プロジェクト2024」に応募し、100万円の交付が決定した。この予算でR6年度は3名の対象者を選定する予定である。

2. 事業実施に関する事項及び予算

若年ママ運転免許取得事業計画表(予定)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者範囲・人数	事業費 予算額 (千円)
若年ママ運転免許取得事業	・経済的に困窮し運転免許を取得できないシングルママに免許取得費用を助成する	2024年4月 ～ 随時	本人の希望する自動車練習所	5名	3名	1,000
事業費合計						1,000

総合計予算額 26,790千円